

## 連載

# た まご ばんざい!! たまご博物館通信

## ⑥変化を続ける養鶏／鶏卵業界

「たまご博物館」館長 高木伸一

こんにちは。「たまご博物館」の高木です。今回は、近年の「養鶏／鶏卵業界を取り巻く動向」について、お話ししたいと思います。

### 一〇年で大きく変わる 養鶏／鶏卵業界

近年、養鶏／鶏卵業界に影響を及ぼすような世の中の動きはたくさんありました。インターネットの普及による業界関連ホームページの拡大もその中の一

つですね。今では、情報収集や情報交換にインターネットは不可欠なものとなりました。これは、一〇年前では予想もつかなかったことではないでしょうか。たまごの販売方法についてもそうですね。一〇年前は大手スーパーやデパートでもほとんどが常温販売でした。それが今では、「チルド販売」が常識となっています。サルモネラの知識の普及とともに業界内での大きな波の一つだったと思います。

### 鶏卵のインターネット 販売増加も必然的変化

近年、養鶏／鶏卵業界にもさまざまな変化の波が来ています。市場には多くのブランド卵がひしめき、インターネットでの鶏卵販売も多数出てきました。これらブランド卵は、鶏卵相場に左右されない「固定価格化」を実現しました。また、養鶏／鶏卵販売業者のホームページも多くなり、従来の販売方法との変

化が必然的に生じてきました（インターネット販売など）。

最近の食品業界を取り巻く事件として、また、近年の業界内に関連する動向として別表のようなものがありました。現在はこのような世の中の動きに合わせた迅速な対応が必須の時代となっています。

### 若い力や新しい血で 新しい組織・業界へ

養鶏業界内の協会でも組織改革や各協会における役割分担の見直し、情報提供活動のあり方などについて検討が始まっています。是非、若い力や新しい血を入れて、新たな業界の目指すもの、あり方について、将来を見越した組織編成をしていただきたいと思っています。

今後、中国卵など、海外から日本のテーブルエッグ市場を脅かすものが入ってくることも予想されます。現在のたまごの自

最近の食品業界を取り巻く主な事件

- 平成12年6月：乳製品による集団食中毒事件発生
- 平成13年9月：国内で初めてのBSE確認
- 平成14年：食品の偽装事件(産地偽装やBSE便乗など)が頻発
- 平成16年1月：鶏卵の日付偽装事件(半年前の卵を新鮮卵として出荷)
- ”：高病原性鳥インフルエンザ発生(国内79年ぶりの発生)
- ”：日本鶏卵生産者協会(JEPA)設立
- 平成16年3月：行政による鶏卵生産調整の撤廃(1月に)
- 平成16年11月：家畜排せつ物法の本施行
- ”：鶏卵表示の実態調査(公正取引委員会による)
- ”：鶏卵トレーサビリティの導入ガイドライン作成(農水省)
- ”：鶏卵トレーサビリティの実証テスト(日卵協)

給率の確保と新たな加工(卵)食品の開発など、時代を先取りした方針で新たな組織の姿を創出していただければと考えています。

生産のシステムも大きく変化

近年、食品業界では品質確保

の対応として、国際基準である「ISOシリーズ」や「NAS A」で手法として確立された「HACCP」、生産過程を追跡できるようにした「トレーサビリティ」などの様々な管理手法やシステムが用いられるようになりました。

しかし、最終的に本当の品質を管理できるのは、管理手法やシステムそのものではなく、実



▲6月に開催された「鶏卵とコレステロールの関係を考える国際フォーラム2005」は、鶏卵のコレステロールに対する誤解を解くという、世の中の動きに対する取り組みの一つでした。写真は日本鶏卵生産者協会の梅原会長。

際に生産に関わる「人」である  
ことを肝に銘じなければなりま  
せん。

そのためには、いかにして消  
費者に品質のよい製品を提供す  
るかを常に念頭に置くことが必  
要であると思います。

## 消費者や世の中に動き に迅速な取り組みを

六月十四日に都内のホテルで  
「鶏卵とコレステロールの関係  
を考える国際フォーラム200  
5」が開催され、医師、看護師  
や栄養士が約二〇〇名、養鶏/  
鶏卵業界関係者が約二〇〇名の  
総勢四〇〇名を超える人が参集  
し、「鶏卵とコレステロールの問  
題」（誤解）を解決するためのト  
ークセッションなどが行われま  
した。

この催しは、日本鶏卵生産者  
協会と日本養鶏協会の共催で、  
鶏卵とコレステロールの関係を  
見直し、誤った認識を払拭させ、

鶏卵の栄養面での正しい知識を  
栄養、医療関係者に普及させる  
ことによって、鶏卵の消費拡大  
に役立てることを目的に開催さ  
れたものです。

鶏卵のコレステロール問題の  
第一人者として著名な「米国鶏  
卵栄養センター」のドナルド・  
J・マクナマラ所長を迎えて行  
われたフォーラムは大成功を収  
めました。

今後も、このような消費者や  
世の中の動きに対して迅速に対  
応していくことがとても重要な  
のではないのでしょうか。養鶏/  
鶏卵業界が、動きのはやい、柔  
軟な業界として益々発展してい  
くことを心から願っています。



次回は、近年の「食に対する  
消費者の高い関心」についてお  
話したいと思っています。

